



みずどう

確かな学力、豊かな心、健やかな身体のバランスのとれた子どもの育成をめざす

令和4年1月号
尼崎市立水堂小学校
尼崎市立水堂町1丁目32-8
TEL(06)6437-3804
<http://www.ama-net.ed.jp/school/E30/index.htm>

今年もよろしくお願ひいたします 小嶋 千花

年末年始は予報通り、寒いお正月となりました。寒いと体も縮こまってしまい、外に出るのも億劫になってしまいます。しかし、キリっとした寒さが似合うのもお正月です。気分が引き締まります。コロナの感染者の増加も気になるところです。3学期も例年通りとはいきませんが、今、できることを精一杯取り組んでまいります。ご支援、ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

11月末に6年生が淡路島方面に修学旅行に行つてまいりました。北淡震災記念公園や鳴門の渦潮、大塚国際美術館を見学。2日目はニジゲンノモリで存分に遊びました。思い出が1つ増えました。

震災記念公園の野島断層保存館では、急なお願ひでしたのに、米山館長が特別にお話をして下さいました。米山館長は全国各地で阪神大震災の教訓を伝える活動を続けておられるそうです。1月17日当日のこともうかがいました。北淡町では地域のつながりがあったから、たくさんの生き埋めになった人を助けることができたこと。あそこの家にはこんなおじいさんがいる、むこうの家には小さい子どもがいるなど、細かいところまでみんながわかっていたから、救助することができたこと。ご自身が消防団の一員として救助する中で、若いお父さんと子ども2人が亡くなった現場に遭遇し、一人残された20歳のお母さんが泣いて、泣いて、泣いて、両脇を抱えられ、一人では立てず、お葬式の時には涙も出なかったこと。こんな悲しいことは2度と起きてほしくない、自身の経験を踏まえ、お話をして下さいました。その中でも、私が1番心に残ったことは、火葬場で働く男性から聞いたという話です。おじいさん、おばあさん、お父さん、お母さんが亡くなってしまい、たった一人残された小学6年生の男の子。火葬場で、自分のズボンのポケットから、その時持っていたお金を握りしめ、「今日はこれでお願ひします」と言ったそうです。もうこんな家族は出たくない、こんな子どもは出たくない。そう話して下さいました。一緒に話を聞いていた子ども達も6年生。この子達と同じ歳の子どもが、その状況で、その行動。胸が苦しくなりました。

今年も1月17日がやってきます。年末から各地で地震が発生しているのも気になります。自然災害をとめることはできません。しかし、日ごろの備え、災害に対する意識を高めることで被害を少なくすることはできる。私達が経験したこと、感じたことを、子ども達に伝えていく。それも地震に対する意識を高める1つになると思います。自分の命は自分で守る。いつでもここが原点です。

1月の行事予定



日	曜	項	目
1	土	元日	冬季休業日（～10日まで）
2	日		
3	月		
4	火		
5	水		口座振替日
6	木		
7	金		
8	土		
9	日		
10	月	成人の日	
11	火	始業式 大掃除	12:30下校
12	水	給食開始	
13	木		
14	金		口座振替日
15	土		
16	日		
17	月	委員会活動 参観（2・3校時） 避難訓練 音楽発表会（4年） 書き初め展（保護者）	

18	火	書き初め展（児童）	
19	水	児童生徒文化発表会書道展（～23日）	
20	木		
21	金		
22	土		
23	日		
24	月	朝会 クラブ活動 給食週間・生活点検週間	
25	火		現金徴収日
26	水	児童生徒文化発表会 （図工展～30日）	
27	木		
28	金	自然学校（5年）	
29	土		
30	日		
31	月	朝会 委員会活動	



☆授業参観について

1月17日に授業参観を行います。新型コロナウイルス感染対策として、分散参観とします。感染対策の観点から、1家庭1名までとし、廊下やウッドデッキからご覧ください。また、会話はご遠慮ください。

～職員より～ 今月号より職員の記事を載せていきます。

『笑う門には福来たる』

わたしは、生まれも育ちも尼崎市です。大人になり、関西圏以外の人たちと交流することが増え、同じ日本人なのですが、文化の違いを感じるようになりました。そのうちの 하나가、日常会話におけるコミュニケーションの取り方です。皆さんもご存じのように関西人は、おしゃべりが大好きで、日常会話の中に常に笑いを取り入れようとする人が多いです。一方がボケる（おもしろいことを言う）と、一方が自然につっこみ（訂正）をいれます。これは、テレビの芸人さんだけの話ではなく、日常的にいろいろな場所で老若男女に見られます。

これは、わたしが過去に受け持ったクラスでのお話です。理科の学習で、「生活の中で物がとけることは、何かありますか？」の質問に、「氷がとける。」「食塩がとける。」「チョコがとける。」ここまでは、よかったのですが、「イチゴチョコ、ブラックチョコ、コアラのマーチ…」ここでつっこみが入りました。続けて「夏は暑くて体がとける。」「問題がとけます。」「悪いこととして休んでいた〇〇（芸能人）の謹慎がとける。」（クラス全員大爆笑。）私も、言葉のつながりのおもしろさに、思わず腹を抱えて笑ってしまいました。しかも、教室を見渡すと数人の子が辞書で「とける」を引こうとしているのです。「とける」という言葉一つから、話を広げたい、人たちがうことを言いたい、そして、何よりみんなに笑ってほしいという欲求が見えた場面でした。隙あればおもしろいことを言ってやろうとする子どもたちを愛おしく思い、いつかこのわらいの力を、ことば（国語）の学習に生かせないかなと考えています。
(教頭 宮城 久雄)

2月の行事予定

- 9日 入学説明会
- 15日 参観・懇談（高学年）
- 16日 参観・懇談（低学年）